

【予告】令和7（2025）年度愛知県立芸術大学入学者選抜について（美術学部）

愛知県立芸術大学では、令和7（2025）年度入試（2024年度実施）より、以下のとおり実施します。

1. 一般選抜について

（1）実施教科・科目等及び点数配分（変更点）について

＜大学入学共通テスト＞

【日本画専攻／油画専攻／彫刻専攻／デザイン専攻／陶磁専攻／メディア映像専攻】

- 利用教科・科目数は、現行どおり3教科3科目とします。「国語」「外国語」を受験必須教科とし、選抜に利用します。
- その他1教科1科目は、「地理歴史・公民」「数学」「理科」「情報」から選択とします。
- 配点等は、以下のとおりです。

○ 美術科（日本画専攻、油画専攻）

学部・学科		試験区分	第1次選考試験								第2次選考試験						
			大学入学共通テスト							小計	実技	合計	個別学力検査等第2次	計			
美術学部	美術科	専攻名	国語	外国語	地理歴史	公民	数学	理科	情報				600		1,000	1,600	実技
		日本画	200	200	200 ※						1,000						
		油画									1,000						

※印は、選択教科の配点を示す。

○ 美術科（彫刻専攻）

学部・学科		試験区分	大学入学共通テスト							個別学力検査等			合計
			国語	外国語	地理歴史	公民	数学	理科	情報	小計	実技		
美術学部	美術科	専攻名	200	200	200 ※				600	素描 600	塑造 600	1,200	1,800
		彫刻											

※印は、選択教科の配点を示す。

○ デザイン・工芸科（デザイン専攻、陶磁専攻、メディア映像専攻）

学部・学科		試験区分	大学入学共通テスト							個別学力検査等			合計
			国語	外国語	地理歴史	公民	数学	理科	情報	小計	実技		
美術学部	デザイン・工芸科	専攻名	200	200	200 ※1				600	描写 500	色彩構成 500 ※2	1,000	1,600
		デザイン									立体構成 500 ※2		
		陶磁									色彩表現 600	1,200	1,800
		メディア映像									発想構成 500	1,000	1,600

※1 印は、選択教科の配点を示す。

※2 印は、色彩構成と立体構成の選択を示す。

【芸術学専攻】

- 利用教科・科目数は、現行どおり3教科3科目とします。「国語」「外国語」「地理歴史」を受験必須教科とし、選抜に利用します。
- 「地理歴史」は、『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』から1科目選択とします。
- 配点等は、以下のとおりです。

○ 美術科（芸術学専攻）

学部・学科		試験区分	大学入学共通テスト				個別学力検査等				合計	
美術学部	美術科	専攻名	国語	外国語	地理歴史		小計	英語	小論文	素描		小計
					歴史総合 日本史探究	歴史総合 世界史探究						
					芸術学	200					200	

※印は、選択教科の配点を示す。

(2) 大学入学共通テストの教科・科目について

【日本画専攻／油画専攻／彫刻専攻／デザイン専攻／陶磁専攻／メディア映像専攻】

教科	科目	
国語	『国語』1科目	必須 必須 左記から 1科目選択
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目	
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合、歴史総合、公共』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』から1科目	
公民		
数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』、『旧数学Ⅰ』、『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』から1科目	
理科	『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目	
情報	『情報Ⅰ』、『旧情報』から1科目	

注1 『英語』についてはリーディング（100点満点）およびリスニング（100点満点）を合計することで、200点満点として利用します。

注2 大学入学共通テストの選択科目は、「地理歴史・公民」「数学」「理科」「情報」の中から得点の高い1教科1科目を選んで入学者選抜に用います。その得点については、「国語」「外国語」の2科目と同様の200点満点に換算して利用します。

注3 『地理総合、歴史総合、公共』は、地理総合、歴史総合、公共のうち、いずれか2つを選択して解答すること。

注4 『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』は、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎のうち、いずれか2つを選択して解答すること。

注5 過年度の成績を利用することはできません。

注6 旧教育課程履修者は、旧教育課程による出題科目(赤字で示した旧教育課程経過措置科目)を選択することができます。新教育課程履修者が、旧教育課程による出題科目を選択解答することはできません。

【芸術学専攻】

教科	科目	
国語	『国語』 1科目	必須
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目	必須
地理歴史	『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、 『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』から1科目	必須

注1 『英語』についてはリーディング（100点満点）およびリスニング（100点満点）を合計することで、200点満点として利用します。

注2 「地理歴史」の科目を複数受験した場合は、得点の高い1科目を選んで入学者選抜に用います。「地理歴史」の得点については、「国語」「外国語」の2科目と同様の200点満点に換算して利用します

注3 過年度の成績を利用することはできません。

注4 旧教育課程履修者は、旧教育課程による出題科目(赤字で示した旧教育課程経過措置科目)を選択することができます。新教育課程履修者が、旧教育課程による出題科目を選択解答することはできません。

(3) 一般選抜（私費外国人留学生）の出願資格及び判定基準（点数配分）について

現行 私費外国人留学生は、大学入学共通テストを受験する必要はありませんが、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を受験してください。



令和7年度入試より 私費外国人留学生は、大学入学共通テストを受験してください。
判定基準（点数配分）については、前述の（1）実施教科・科目等及び点数配分、
（2）大学入学共通テストの教科・科目のとおりとなります。

2. 総合型選抜について

(1) 日本画専攻における総合型選抜の実施について

詳細については、「別紙1」のとおりとなります。

【予告】**令和 7（2025）年度入学者選抜より、美術学部美術科日本画専攻において****総合型選抜を実施します。****1 趣旨**

従来的一般選抜による選抜だけでなく、総合型選抜という方法によって多様な才能を持つ学生の発掘を目的に実施します。

2 アドミッションポリシー**(1) 求める人物像**

- ・自分の可能性を信じ、自分の考える絵画（日本画）表現の目標に向かって高い意欲を持って取り組める人
- ・芸術家として自己表現を目指す人
- ・新たな発想力と表現力を身につけ、社会で活かしたいと思っている人

(2) 入学前に身につけて欲しい学習成果

- ・基礎的な観察力と描写力
- ・基礎的な色彩による表現力
- ・基礎的な絵画構成力と絵画表現力

(3) 入学試験の基本的な方針・考え方

受験生が意欲を持って受験しやすい環境を整えるとともに、基礎的な観察力及び描写力、表現力、絵画構成力を問う入学試験を実施します。

【総合型選抜】

自己アピール資料審査、提出作品審査(平面作品)及び面接試験により合否を判定します。

※実技試験、学力試験は行いません。

3 募集人員

美術学部美術科日本画専攻 若干名（日本画専攻入学定員 10名の中に含まれます。）

4 出願資格

次の(1)と(2)の両方に該当する者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 7 年 3 月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 7 年 3 月修了見込みの者

- ③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和 7 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、令和 7 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和 7 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

※ 出願資格⑧により出願しようとする者は、募集要項に記載の期限までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。

- (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者

5 選抜方法及び点数配分

2 段階選考を行います。

(1) 第 1 次選考試験

出願時に提出された自己アピール資料による能力判定及び書類審査により選考。

試験の種別	書類審査
内容	<p>出願時に提出された自己アピール資料による能力判定及び書類審査により選考。</p> <p>■ 提出資料の内容</p> <p>①課題作文（令和 7 年度募集要項にて『課題』を公表予定） 1,000 文字程度（A4 サイズ・様式や枚数は自由）</p> <p>②活動記録・作品 これまでの自主的な活動記録や自己制作作品を自由にまとめてアピールしてください。 （A4 サイズで提出枚数は自由。なお、1 冊にまとめてファイリングすること。）</p> <p>※提出資料は返却しませんので、実物オリジナル作品の提出は避けてください。</p>
評価基準	<p>実技の基礎的な観察力と描写力、表現力及び絵画構成力を総合的にみる。</p>

(2) 第2次選考試験

第1次選考合格者に対して、提出作品審査（平面作品）、面接試験により選考。

【提出作品】

試験の種別	提出作品審査（平面作品）
内容	提出作品の審査を行う。 ■ 提出作品の内容 過去3年以内の作品 着彩、素描、日本画、水墨など表現は自由
サイズ	B2、木炭紙大、20号程度
枚数	5枚以内
評価基準	・ 平面作品への意欲と資質をみる。 ・ 表現能力をみる。

【面接】

試験の種別	面接
時間	1人15分程度
内容	自己アピール資料、提出作品、志願理由に関する試問
評価基準	人物の志向性や平面絵画表現への探求心、意欲などをみる。

(3) 点数配分

第1次選考試験		第2次選考試験		
書類審査	計	提出作品審査 (平面作品)	面接	計
1,000点	1,000点	500点	500点	1,000点

その他詳細は、『令和7年度美術学部総合型選抜 学生募集要項』にて公表します(令和6年7月下旬公表予定)。